

# 会議録

1 附属機関等の会議の名称 令和6年度 第2回美里町近代文学館運営審議会

2 開催日時 令和7年3月7日（金）  
午前10時00分から午前11時55分まで

3 開催場所 美里町中央コミュニティ第3研修室

4 会議に出席した者

(1) 委員 中館典子委員、小島恵美子委員、鎌田公子委員、渡邊智佳子委員、  
木田真由美委員、梁川敏江委員、佐藤孝委員、澤田とよ子委員

(2) 事務局

小牛田図書館長 佐藤卓也  
課長補佐兼南郷図書館長 草刈明美

(3) 欠席者 長田智紀委員

5 議題及び会議の公開・非公開の別

(1) 議題

- ① 会議録署名人及び会議書記の指名
- ② 令和6年度事業報告について
- ③ 令和7年度事業計画について
- ④ サービス事業の充実と利用者拡大について
- ⑤ その他

(2) 会議の公開・非公開の別 公開

6 非公開の理由 なし

7 傍聴人の人数 なし

8 会議資料 別紙のとおり

9 会議の概要

【発言内容の記録】

発言者	発言内容
草刈課長補佐兼館長	定刻なりましたので、これから、令和6年度第2回美里町近代文学館運営審議会の開催を始めたいと思います。まず始めに、委員長さんから御挨拶をいただきます。
木田委員長	本日は年度末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。年2回しかない会ですので、是非皆さんの活発な御感想、御意見をよろしくお願いします。 次第の3、会議録署名人の選出と議事録の作成について、事務局案をお願いいたします。

草刈課長補佐兼館長	ありがとうございました。それでは、会議録署名人の選出と議事録の作成について、事務局案をお話いたします。
佐藤館長	会議録署名人について、中館委員と澤田委員にお願いしたいと考えております。また、議事録の作成は事務局が行うということでおろしいでしょうか。
木田委員長	ご両人よろしいでしょうか。（拍手多数。） どうぞよろしくお願ひします。
佐藤館長	ありがとうございました。
木田委員長	それでは、次第の4報告・協議（1）令和6年度事業報告について、事務局お願ひいたします。
草刈課長補佐兼館長	次第の次のページを御覧ください。資料に沿って、御説明をさせていただきます。 【資料① 令和6年度事業報告 館内行事、館外サービス、施設見学についての説明】
佐藤館長	引き続き、御説明をさせていただきます。 【資料① 令和6年度事業報告 町民ギャラリー企画展、視聴覚会議室利用講座 体験研修受入についての説明】
木田委員長	ありがとうございました。ここで一旦切りたいと思います。ここまで事業報告について御質問のあるかたはいらっしゃいますか。より詳しくお聞きしたところはなかったでしょうか。
佐藤委員	図書資料の貸出行に加え、これだけの行事をされているということなのですが、図書館を利用できないでいる方々が多いということから、まだまだ働きかけをしていかなければならないという感想をもちました。
木田委員長	貸出業務もあり大変だとは思いますが、行事について多くの方に足を運んでいただけるように、よりPRをすることなどが必要になるかもしれません。その他にございませんか。
小嶋委員	感想になりますが、初めて読書会に参加しました。参加してよかったです。様々な本を紹介していただき、刺激を受けました。多くの本を読んでいる方がいるのだなあと思いました。話題が広がり過ぎてしまったかなという感じも受けました。また、先日行われた読み聞かせの研修会では、戦争のことに加えて、東日本大震災に関する絵本が紹介され、改めて本のよさを実感いたしました。紹介された本を借りようと小牛田図書館に尋ねたところ、すぐに南郷図書館から借りていただいた。自分ではなかなか探せないので、司書さんに対応していただき感謝しています。また、司書さんからこのような本を読んでみませんかと紹介されることもあり、その本も読んでよかったです。やはり、図書館に足を運ぶことが大切だと感じています。図書館に感謝しています。
木田委員長	カウンターでの情報提供も大切な業務と感じる。貸し出しだけでなく、利用者の見聞を広げてくださる情報提供も貴重であると思います。他にございませんか。後でその他の項目もありますので、もしあればそこでお話していただいてもかまいません。 それでは、次第の4報告・協議（2）令和7年度事業計画について、事務局お願ひいたします。

草刈課長補 佐兼館長	<p>次第の次のページを御覧ください。こちらも資料に沿って、御説明をさせていただきます。</p> <p>【資料② 令和7年度事業計画 館内行事、館外サービス、施設見学についての説明】</p>
佐藤館長	<p>引き続き、御説明をさせていただきます。</p> <p>【資料② 令和7年度事業報告 町民ギャラリー企画展、視聴覚会議室利用講座 についての説明】</p>
木田委員長	それでは、令和7年度事業計画について、御質問及び御意見をいただきたいと思います。
梁川委員	<p>勤労者を対象とした行事が不足していると感じています。PRの仕方を工夫され、土、日曜日や祝日といった休日の企画の充実や平日働いている方への企画を考えてはどうかと思います。</p> <p>千葉亀雄記念文学室があるので、千葉亀雄に関連する行事をすることも大事ではないかと思います。</p> <p>平和展で、平和に関連する本の紹介だけでなく、平和展と同時開催で幅広く本の紹介をする企画をしてはどうかと思います。</p> <p>読み聞かせ会や読書会を開催していることはよいことです。引き続き開催され、テーマを変えながら複数回開催するとよいのではないかと思います。例として、小・中学校の教科書で取り扱っている本について取り上げてみるのもよいと思います。</p>
木田委員長	ありがとうございます。読書会の持ち方でいろいろなバリエーションが考えられるということですね。テーマを掲げて行う内容に加え、参加者が愛読書を持ち寄り皆さんで語り合う内容もよいと思うので、複数回の開催がよいように感じました。
草刈課長補 佐兼館長	参加者からもアンケートでそのような御意見をいただきました。今年度は小牛田図書館、南郷図書館共に持ち寄りの読書会だったので、来年度は、参加者の方々が本を持ち寄っての内容と今人気が上がっていいる作家や普段読まないであろうと思われる本を課題にした内容にしようと考えているところです。
木田委員長	読書会や研修会に参加される方々の年齢層はどのようにになっているのでしょうか。
草刈課長補 佐兼館長	60歳以上が多いです。参加を楽しみにしている方が多く、内容によっては、盛り上がって時間を過ぎてしまうこともあります。
木田委員長	ありがとうございました。高齢者にとって図書館が憩いの場になっていることもあります、勉強する場もあります。今後は、子供たちの利用を増やすためにどのようにしていくかが課題であると思います。この点についても皆さんからの御意見をいただきたいと思います。
佐藤委員	報告・協議の（3）と関わってくると思いますが、図書館には利用者用のパソコンがあります。そのパソコンでインターネットを活用して検索することができますが、ユーチューブの視聴はできないようです。ユーチューブの中には、資料と比較しながら視聴することで内容がより分かりやすく、深まっていくこともあります。制限をかけることは大切ですが、利用者は自身の目的意識をもって、図書館資料を活用することが大切になってくると思います。自分自身を深めていくためにも目的意識をもつことが大事だと思います。ユーチューブが視聴できるようにできないのでしょうか。
木田委員長	ありがとうございました。それでは、事務局に回答願います。
草刈課長補	はい、回答いたします。ユーチューブの利用に関してですが、図書

佐兼館長	館では制限をかけているのですが、こちらは図書館システムの安全パックになっているものを使っています。ユーチューブに限らずネットのニュースですとか、様々なSNSですとか、その中には不確定な情報があり、もちろんヘイトやセクシャリティのものとかもあります。誰でも見れるのが図書館ですが、特に子供も使うということもありますので、アクセスの制限はかなり高めに設定されています。ユーチューブの中には、課金しなければならないものもあるようなので、その制限がかかってしまうこともあるようです。公のところでの利用方法として、図書館をどのように利用していくのかを促していくのか、あとは利用者の方のどこまで利用するのかというところを、これから情報をどのように選択していくかが難しく、私たちの現状以上に技術が発達しており、現在AIが発達してきていますので、この情報がAIで作られたものかどうかが判断しづらい時代になってきています。ネット世界では利用者の責任が問われていると感じています。
木田委員長	その中で、紙の資料についてはいかがでしょうか。
草刈課長補 佐兼館長	紙の資料については、その資料が思想と違うからといって線引きすることが難しいです。図書館に入れてよいかを選書会議で判断しているところです。1つの思想だけに集中していて、それを排除するといったようなことではなくて、公平にみんなに認められている範囲内では両方の思想を認めていくような選書を行っています。もし、こういった内容で希望する本がありましたら、カウンターで相談していただくのがよいと思います。以前にあったことですが、この本は入れないでほしいということがあります。自身の御先祖様の名前が歴史書に載っており、そこを黒塗りにしてほしいという要望がありました。それは資料の損傷にもなるので、また、文言を変更することはこちらの方ではできないのでと対応したこと也有ったので、そういうことを踏まえてそれぞれの館で館長や司書が選書にあたっています。うちの館ではあまり借りられないという特異な資料があった場合は、県図書館から借りたり、リクエストして購入していただいたりといった形もとっております。情報だけはできるだけ提供する形をとっているという現状でございます。
佐藤委員	はい、分かりました。
木田委員長	そのほか御意見はございませんか。
小嶋委員	サービス事業のところですか、事業内容で、夏の夕べのブックコンサートとか音楽を入れて、本からちょっと遠のいた方でも聞けるんだという形で図書館に集まれる機会を作るというところから、集まつた方に本のすばらしさを紹介するという行事はすごくよいと思います。それから、小牛田農林高校の図書館マルシェですが、他の方と交えての出前図書館とか、公民館とか別の場所とも連携して、本から遠のいている方々にも近代文学館を紹介していただけるといいのかなと思います。それから、これからのことですが、文化協会で行っているのですが、11月の町民文化祭を、去年は文化会館で行ったのですが、今年度は近代文学館の2階を使って、資料とか絵を展示させていただければと思っています。美里町も小牛田と南郷が合併して20周年となるので、この点を強く町民にアピールして、多くの方に出品していただこうと話し合っていきたいと思っています。そこに、図書館まつりも当てていただけるとよいかなと思っています
木田委員長	意見とプランの御提案でございました。
佐藤館長	今のような企画は大歓迎ですので、その企画が実現できるように近

	代文学館でも応援や御協力できることはさせていただきたいと思います。
中館委員	町内の方でも、南郷の方は、本庁舎と中央コミュニティと近代文学館が3つあることが分からぬ方がけっこう多いと思います。中央コミュニティと文化会館は分かっても、近代文学館の場所までは道路を挟んでいるので分からぬと思います。子供たちにもこの施設が分かり、活用していく様にするためにも、大人の方に分かってもらう必要があると感じています。そのためにも、文化協会等関係機関と共催したイベントを行い、広く町民に分かっていただくようにしてはよいと思います。
木田委員長	ありがとうございました。ぜひ文化協会主催の町民文化祭を活用して図書館PRをしていただければと思います。その他御意見はないでしょうか。
梁川委員	運営審議会で予算があるのであれば、花泉図書館を視察するとかがあれば、私たちは参加しやすくなると思います。
木田委員長	今話にありました研修会があってもよいかとも思われます。
渡邊委員	若い人たちは大崎図書館を利用するがあります。車で行くのですが、広くて、知っている人も少なく、絵本を借りています。
木田委員長	みなさんが大崎図書館を利用されている方はどれくらいいらっしゃいますか。※返事多数
佐藤委員	私も行ったことがあるのですが、あまりにも広くて、私にはすぐには選べないと感じました。
木田委員長	このような本が読みたいなという目的意識をもって行く方にとっては、時間があったりすると座って読んだりしたいと思うでしょうね。
佐藤委員	そうですね。目的意識ですね、駐車場の広さと施設の部屋の多さでも利用したくなるでしょうね。
木田委員長	私も多賀城の図書館に行ったことがあるのですが、本が好きとかいうのではなく、憩いの場といった感じで、ちょっと足を止めて立ち止まりたいなというような図書館の在り方もいいなと感じています。
中館委員	大崎図書館にはいっぱい蔵書があり、大人だけでなく、利用している子供たちも多くいました。座って読んでいる子もあり、それだけ広いスペースがあると感じます。単に本を借りる、本を読む、本を見るといった楽しみを与える場所であってもよいと感じています。
木田委員長	簡単に言うと都会的というか、学問や研究だけなく楽しいと感じる場所ということになりますか。
草刈課長補 佐兼館長	図書館の歴史から、最初の公共図書館は、カウンターでこの本を持ってきてくださいとお願いすると、カウンターの奥の書庫から本を持ってきて貸し出しが昔のスタイルでした。これがだんだん変わってきて、この図書館ができた頃になるとパソコンが導入され、自由に本を見ることができ、自分で選んで借りることができます。それが、さらに変わってきて、カフェが設置されるようになります。授乳室とかベビールームがつくられ、子供が使いやすくなるようになります。子供が使いやすくなれば大人の利用も増えます。前の時代の流れに合わせて造られた図書館は時代に合わないものがあります。小牛田図書館は時代の流れに合ったものもあれば、豈のコーナーを再度使うようにするなどの工夫をしていかなければなりません。

	<p>と思います。今の御意見を伺い、現在小牛田の図書館も高齢者がラウンジのところやソファーのところで自由に本を読んだり、新聞を読んだりと時間を過ごしています。そして、子供たちのコーナーが少し離れたところで滞在できるような工夫ができればと考えているところです。南郷図書館に関しましては、狭いところなので、難しいですが、廊下に面しているところに机を配置し学習コーナーにしています。奥にテーブルを配置し、大人の方はそこで本を読んでいます。高齢者や親子連れの方の場所については、皆さんからの御意見が実現できるように取り組んでいこうと思っています。</p>
木田委員長	<p>ありがとうございました。私が感じているのは、畳のスペースがデッドスペースになっているのではないかと思っているのです。読み聞かせのとき、何人か畳の上に上がり込んでお話を読んでもらっているところを見たことがあります。やはり畳だと靴を脱いで上ることは子供たち自身が来て、そこにくつろいで本を読んだり、寝そべったりして、中・小学生が使うかと考えたら使わないと思います。椅子とテーブルを置けば、大人がソファーや椅子に座って過ごしているように気楽に読書ができたらと感じています。今、畳って子供たちに活用されているとは言い難いと感じています。それから、もったいないと感じています。</p>
鎌田委員	<p>私は逆で、おひざにだっここのボランティアをしているので、畳のスペースが必要で、靴を脱いで、跳ね回って、寝転がったり、本を下に置いて読んだり、1週間に1回ですが、おひざにだっこには赤ちゃんを連れてくる方もいるので、ソファーに寝転がらせるよりは、畳の方がよいと思っています。現在自宅に畳を敷いているところが少なくなっていて、お母さん方に聞くと「畳はいいわ。」と話していました。反対側にもありました畳が、私自身は使ったことはないですが、なくなったのは残念でした。</p>
木田委員長	<p>畳のスペースは週1回しか使用しないということですね。普段使いとして、子供たちがその場所でもっと作業できるようなスペースの活用というかレイアウトができるものかという提案です。</p>
草刈課長補佐兼館長	<p>おはなし会のときは、お母さんはお子さんを2、3人連れてくるわけです。お母さんが本を読んでいるときに赤ちゃんをどこに置くかというと畳のスペースに寝かせたり、ぬいぐるみと一緒に抱っこしたりしています。椅子では不安定なところがあったりするので、靴を脱いで直に座れる場所だとお母さんも子供も安心しているように見えました。これは、特別なおはなし会だけでなく、日常的に見られることで、周りから見えづらくなっているので、赤ちゃんを寝かせて一緒にいることができるという安心感があるように思えます。子供が迷惑をかけるのではないかという遠慮もなく、また、お父さんやお母さん、祖父母も一緒に来た時には向かい合って座り、本を読み聞かせたり、指遊びをしたりしていました。小牛田図書館に限らず、他の図書館でも子供のいるスペースが必ず1カ所くらいはあるのではないかと思います。畳やフロアはそういう形で触れ合える場所としてあっていいのかなと思います。</p> <p>南郷図書館には、そのような場所がなく、長椅子に赤ちゃんを置いているので、落ちるのではないかと感じています。そういうこともあって、南郷図書館では、子供の利用が多ければ多いほど、そういうスペースが欲しいと思います。</p>

澤田委員	私も家族で使ったことはないのですが、たまたま南郷図書館に行つたとき、家族を見かけ、そのとき、さほど大きくないソファーにお母さんと子供がペタッとなっている様子を見たとき、もっと広かつたらいいのにと感じました。
木田委員長	話を聞いていて、見ている子供の年齢層が全然違うと感じまして、小学生が来て、あの場所に行って、友達と一緒に畳の上で本を広げて読むかっていうとわざわざ靴を脱いでまで上がって使おうという子はいないと思います。大人のスペースみたいに椅子に腰掛けて、ゆったりと過ごせる場所がもう一つあってもよいと思います。なぜ、畳のスペースにしたのでしょうか。畳のスペースに比べると座るスペースが狭いと思います。畳のスペースは未就学児であれば大勢で来るからよいかかもしれません、小学生以上の子が、自分で本を読めるようになった子が図書館にいれば、居場所がないと思えるようなスペースはどうなんだろうと感じます。そうなると畳のスペースでは大変だと思いました。小学生、中学生、ヤングアダルトの対象者がどこで読めばいいのと感じます。
草刈課長補 佐兼館長	そのような子供たちが読める場所というのは大切だと思います。子供たちが隠れ家的な場所として、椅子でもあれば子供たちも落ち着くのかなとも思います。大崎市図書館か気仙沼の図書館かにあると思うのですが、本棚の間が椅子になっているようで、そこが秘密基地的になっており、そういう場所があるといいなと思っています。現状を考えると難しいと感じています。居場所に関しては、これから考えていかなければと思います。
佐藤館長	中学生が座れる場所としては、憩いのコーナーで本を読んだり、勉強したりしている様子が見られています。ヤングアダルトの書架の前のソファーは高齢者の方が座っているので、その場所に座って読むことを子供たちはなかなかできないと感じています。
木田委員長	小学校の子供たちが来やすく、気楽にいられるスペースってどこなんだろうと考えたとき、それぞれの年代層に合わせた場所があるといいのかなと常々考えています。そのこともあり、先ほど畳のスペースがデットスペースになってしまっているのではないかと話しました。
佐藤館長	館内のレイアウトを考えていきたいと思います。限られたスペースなので厳しいと思いますが、模索していきたいと思います。
木田委員長	御苦労をかけると思いますが、よろしくお願ひします。その他御意見ございませんか。 の方から、POPコンクールについてですが、一般の方も応募の対象に入れることでしたが、小牛田農林高校への声掛けがあつてもよいと思うのですが、そういうことを考えているのでしょうか。
草刈課長補 佐兼館長	一般だけでなく中・高校生と広く声掛けをしていこうと思います。
佐藤館長	今年度は、小牛田農林高校の生徒さんたちには、図書の先生を通じて声掛けしていただき、クラブに所属している生徒さん方とは思いますが、図書館まつりの際、農林高校の生徒さんが作られたPOPを展示いたしました。一般の方も御覧になり、POPの本を手に取って眺めたり、借りていかれたりしていたようです。
木田委員長	その他、事業計画等で皆さんから何かございませんか。
梁川委員	先ほどお話ししましたが、千葉亀雄のことについて、何か行事を予定しているのでしょうか。栗原市のように白鳥省吾さんに関連した行事をしているようですが、それとは別の内容でよいと思うので、4年

	に1回でも講演会とか研修会とかの催しを開催してもよいと思っています。
佐藤館長	検討していきたいと思います。
草刈課長補佐兼館長	南郷古文書を読む会と千葉亀雄研究会の2つの団体がありますので、そちらの方々でパンフレットを作っていました。それからパネル展とか講演会とかをこれまで行っていて、コロナ感染症拡大防止のため休止していたところもあります。
佐藤館長	2つの団体は、今年度活動を行っていますので、声を掛けさせていただき、研修会とか講演会とかを企画できればと思っています。
木田委員長	11月の町民文化祭で開催できるように進めていけるとよいと思います。
佐藤館長	文化協会さんと連絡を取り合って、開催できればいいのかなとも思っています。
木田委員長	ありがとうございました。その他ございませんか。それでは(4)その他のところで何かあればお願ひします。 なければ、私からです。先日中学校の卒業式に出席した際、廃棄される本がたくさんあるのを見かけました。それらの資料について、図書館さんの方では把握しているのですか。資料によっては、図書館にあるものと交換した方がよいものもありましたので。リサイクルに回してもよいようにも感じました。廃棄にはちょっともったいないと見てきました。3校分あるので、相当な数になると思われるのですが。
草刈課長補佐兼館長	教育総務課からのそういったお話はなく何も聞いていないので、これからそういった話が出てくるのかもしれません。新中学校での本の入れ具合について把握していないところもあります。
木田委員長	先生方が中心となると思うのですが。私は、アドバイザーとして図書館の司書の方に入ってほしいなと思っています。新しい中学校と連携づくりに手をかけてやっていただけするとスムーズになっていいのかなと思っていました。
草刈課長補佐兼館長	教育総務課と相談しながら、現状を把握しつつ行っていきたいと思います。新中学校になっても、これまでどおり連携していくと思います。それから、教育総務課から学校の図書館活用についてどうしたよいかを聞かれたことがあるのですが、新中学校開校までの準備の中で本稼働するまでにはいたっていなかったので、今後も継続してつながっていこうと思います。
木田委員長	地域への開放ということも考えて、新しい中学校は設計されているはずです。ですから、もっと教育総務課さんだけでなく、地域づくりという観点からもぜひこの点についても対応をしていただきたいと思います。
佐藤館長	5月に学校の図書館担当の先生と学校図書補助員さんとの会議がありました。その時には、3つの中学校それぞれの図書を選別する際に、アドバイスをしてほしいという要請が何校からかありました。それをもって新しい中学校へ引き継いでいくということでしたが、そのあとの情報が入っていない。
木田委員長	それぞれの中学校には箱詰めされてありました。その中には読みたい本もあったので、無駄にしないような方法を考えてほしいということです。 もう一つ私のほうからです。私の勉強不足なのかもしれません、検索サービスで作家年鑑みたいなものを検索できないものなのでしょうか。蔵書は検索できますが、作家がどの年にどんな作品をかいたの

	かというものが一覧になっているものが見られないものなのか。
草刈課長補 佐兼館長	現代の作家をまとめたものは、インターネット上ではほとんどないと思います。紙ベースであればあります。今、現代作家のものは冊子になっていて、例えば桜庭一樹の研究書で作られた後であれば出てくるかもしれません。出版社自体があまりそのようなことに力を入れていないうで、インターネットで調べるのであれば、ウィキペディアで調べていくしかないと思われます。以前であれば、作家ごとの著作歴みたいなものが入っている辞典とかありました。インターネットが普及する前は、毎年そういった書物が発行されていました。今は出版されなくなりました。また、図書総目録もあり、3分冊くらいになって出版されていました。それも、もう出版されていません。
木田委員長	ありがとうございました。その他皆様の方から御意見や御質問があればお願いします。 それでは、5のその他です。事務局から何かございませんか。
草刈課長補 佐兼館長	特にはございませんが、来年度図書館のシステムが更新となりますので、第1回を5月か6月にもちたいと考えております。
佐藤館長	できれば5月中に開催できるように調整していきたいと思います。
梁川委員	任期は2年ですよね。
草刈課長補 佐兼館長	そのとおりです。もう1年ございますので、よろしくお願いします。 これで、第2回運営審議会を終わりにいたします。ありがとうございました。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和　　年　　月　　日

委員\_\_\_\_\_

委員\_\_\_\_\_